

新入生へのご挨拶

新入生の皆さん、久留米工業高等専門学校へのご入学、おめでとうございます。教職員を代表して、心より歓迎の意を表します。

本来であれば、入学式を挙げて直接、ご挨拶を申し上げたいところですが、新型コロナウイルスがパンデミックとなり、感染症対策の観点から入学式は中止にさせていただきました。ホームページでのご挨拶となりますことをご理解下さいますようお願い致します。

さて、自動運転、量子コンピュータ、AI、5Gなど、近年の科学技術の進展には驚かされますが、我が国の産業構造も急激な変化を迫られています。このような科学技術の各分野は関連する分野間で相互作用します。例えば、自動運転システムには、ガソリン、電池、水素などの燃料、車体材料、半導体などの電子材料・機器、センサー、通信・制御システム、コンピュータなど、多くの分野が関連します。これらの各分野自体では目まぐるしい進展がありますが、それらが相互に影響を及ぼし合う結果として、自動運転システムとしては一層急激な、指数関数的な進展を呈することになります。科学技術はもともと、様々な分野との相互作用がありますが、変化が緩やかな時期は線形・直線的な変化に見えます。指数関数が局所的には直線近似されるのと同様です。それが、近年、その本質的な変化を露わにしてきたことになります。我々人類は科学技術へのこれまでの線形認識から指数関数的認識に変化を求められています。

久留米高専の5年一貫教育は（進学した専攻科を加えた場合は7年間教育）、このような激動する社会で活躍する学生を育てる高等教育機関としては最適と考えます。初年次から課題・問題意識をもって学んで欲しいと思います。

新型コロナウイルスと関連して、相互作用に関してもう少し触れます。日米欧などの医療先進国で新型コロナウイルスが収束したとしても、医療後進国は収束が遅れるかもしれません。結果として、その影響は医療先進国に及ぶ懸念があります。このことは、平時における先進国の後進国への援助の大切さを教えてくれます。医療後進国の医療改善は今回のような地球規模での感染症の早期収束を保証してくれるからです。このような考え方は、人やモノの交流・移動が頻繁になったグローバル社会では一層、重要となります。我々は、全ての国と繋がって相互作用しています。また、各国のコロナ対応が

国レベルで人の移動を禁止しているため、一見、グローヴァル化に逆行しているように見えますが、各国の教訓は共有され、人類全体で新型コロナウイルスに協力対応していることを忘れてはいけません。新型コロナウイルス禍は孤立では無く協調の大切さを教えています。

久留米高専は職業専門学校とは違い、大学などと同様に高等教育機関の1つです。皆さん方は工学系の専門を学ぶだけではなく、幅広い教養も修得する必要があります。もって、国内外の平和、福祉、持続ある発展のために活躍することになります。例えば、AI 技術は人間の脳構造、脳神経科学と密接な関係があり、結果として、我々の社会現象、社会科学と繋がっています。文学、哲学、政治、経済などの知識は、単に幅広い教養という意味にとどまらず、これからの科学技術の進展には必須の素養となります。これからの時代は、自然科学も社会科学も、人間とは何か、が問われることになります。久留米高専は皆さん方のそのような知的要求に応えられる教育システムを構築しています。

さて、当面は5月のゴールデンウィークまでは開講されませんが、この1ヶ月は皆さん方にとっては貴重な期間になります。感染しない、感染させない、あるいは、密閉、密集、密接を避ける、という生活スタイルが求められますが、読書や地球環境などの興味あるテーマなどをネットを活用しながら追求するなど、有意義な期間にして欲しいと思います。教職員一同は1ヶ月後に皆さんにお会いするのを楽しみにしています。

結びとして、哲学者ニーチェの「脱皮しない蛇は滅びる」という言葉を贈ります。

校長 本庄春雄